

2022友の会活動 拡大強化月間スタート



苦小牧健康友の会 友の会だより

発行所
苦小牧健康友の会
所在地
苦小牧市見山町
1丁目8-23
電話 72-3291

発行責任者
竹田 登紀子



苦小牧健康友の会では9月から始まる『強化月間』のスタート集会を全道に先駆け、8月3日に開催しました。集会では学習講演として当院の元事務長で現在、勤医協本部組織広報部部長の近藤良明さんに「民医連運動と友の会の歴史と取り組むべき課題」について講演いただきました。

学習会の一部と今年の取り組みについてご紹介します。

学習会

「民医連運動と友の会の歴史」

民医連や勤医協の誕生の発展は友の会とともに歩んできました。地域の生活と結びついた医療でなくてはならない、コロナであつてもつながろう、月間が終わった後にその結果をもつて自治体と交渉していきましよう。職員は就職後に研修などで民医連を知る学習の機会があり、最初から地域の友の会員の皆さんは、ご協力ください。結果を持って苦小牧市長との懇談に使わせていただきます。



今年の内容

- ・9条改憲・社会保障解体を許さず、平和と命を守る運動を共同して進める友の会の仲間づくりを拡げよう
- ・“つながろう1万件対話”運動を拡げ、困難を抱えている人たちに寄り添い、安心して暮らせるまちづくりを進めよう

月間スローガン

地域・職員の活動交流



安心して暮らし続けることができるまちづくりをすすめるためにも、友の会を強く、大きくすることが大切です。そのことが民医連が目指す無差別・平等の医療と福祉の実現、展開することにつながります。最後に、苦小牧の皆さんへ引き継ぎたいこと、①様々な健康相談会など地域の方と職員と共に取り組ましましょう。②各地で取組まれている平和を繋ぐ宣伝と署名を取組みましょう。③苦小牧市では、薬代も無料低額診療の対象となつています。この制度を多くの方に広め、住民のいのちと健康を守りましょう。と熱く語られました。

スタート集会では、居場所づくり部の荒川さんから実践報告がありました。「誰かとお話したい」の思いにふれ、なんとコロナ禍でも開催できるような取り組みについても話されました。その他、地域の方や職員から、この間の取組みの報告と月間を迎えるにあたり意気込みが語られました。9月10月の2か月間となり。



コロナを乗り切る

健康講座 Vol.17

「メタボCT (内臓脂肪CT) について」

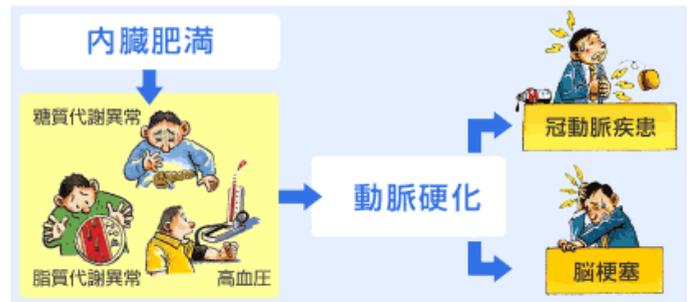
勤医協苦小牧病院 診療放射線技師 松井

季節は秋になります。秋と言えば「食欲の秋」という方もいるかもしれませんが。食欲の秋の前に、気になるポッコリお腹、健診などでメタボ疑いの方に是非おすすめです。一度、内臓脂肪を正確にCT検査で計測してみたいかかでしょうか。特定健診の予約の時に一緒にお申し込みください。



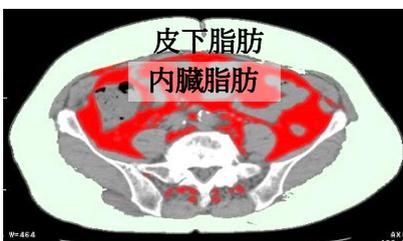
★メタボリックシンドロームとは

- ・内臓肥満症候群とよばれます。内臓脂肪型肥満に加え高脂血症、高血圧症、高血糖の3項目のうち2つを満たした状態をメタボと言います。
- ・内臓脂肪は糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病を併発します。
- ・メタボを放置すると動脈硬化が進み、脳梗塞や心筋梗塞等の血管障害を引き起こす危険度が高くなります。



★メタボCTの検査方法

- ・CT装置の寝台にあおむけになり、息を止めてへその位置を撮影します。
- ・検査時間は5分程度です。
- ・輪切りの画像を撮影し検査は終了です。
- ・撮影した画像をイラストのような内臓脂肪と皮下脂肪の量に分けて算出します。
- ・内臓脂肪検査結果は内臓脂肪と皮下脂肪が色分けされており、ご自身で見ても把握しやすくなっています。



予約制の検査ですので、健診コーナーや診察時にご相談ください。
勤医協苦小牧病院 0144-72-3151

